

## 平成24年度第2回成田市地域公共交通会議の概要

### 1 開催日時

平成24年7月20日(金) 午後3時～午後3時37分

### 2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

### 3 出席者

(委員) 17人

諸岡会長、一色委員、大澤委員、佐藤(勇)委員、松室委員、遠藤委員  
小堀委員、宮崎委員、鶴澤委員(代理 梅田)、今井委員、佐藤(克)委員  
成毛委員、田中委員、池田委員(代理 池田絵里子)  
木内委員(代理 佐久間)、飯田委員、古関委員

(事務局)

交通防犯課 貝原塚課長、石井主査、山倉主任主事  
高齢者福祉課 佐久間課長、神崎副主査

### 4 協議事項

- (1) オンデマンド交通実証実験の報告について
- (2) オンデマンド交通運行許可の更新について
- (3) コミュニティバス北須賀ルートアンケート調査結果の報告について
- (4) その他

- ・コミュニティバス遠山ルートの上り1便(6時35分始発)の運行内容の報告について

### 5 会議の概要

議長： 協議事項(1) オンデマンド交通実証実験の報告について、担当課から報告をお願いします。

高齢者福祉課： 成田市オンデマンド交通実証実験の報告(6月末日現在)を資料にもとづきまして、説明いたします。4月24日の第1回成田市地域公共交通会議で承認いただきました件についてですが、平成24年6月1日から運行日を月曜日から土曜日の午前7時から午後6時まで拡大して実証実験を行っております。まず、利用登録者状況ですが、登録者数は515名で、4月から107名増加しております。男女別では男性が154名、女性が361名で、年齢別では80歳から84歳までが一番多く181名となっております。地区別では、中郷地区が40名、久住地

区が 161 名、豊住地区が 107 名、下総地区が 207 名となっております。

また、乗降場設定状況ですが前回と比較して久住地区 1 か所、下総地区で 4 か所それぞれ増設し、実験エリア内が計 290 か所となりました。また、実験エリア外では、市役所、成田赤十字病院、ジャスコイオン成田店など計 31 か所で合計 321 か所となっております。

次に、運行利用状況の延べ利用者数ですが、4 月が 276 名、5 月が 426 名、6 月 543 名で、1 日平均では 4 月が 13.1 名、5 月が 18.5 名、6 月が 20.9 名と少しずつですが増加しております。最後に 6 月から拡大した分の利用状況についてですが、土曜日は全 5 日で延べ 53 名、時間帯では 16:00~18:00 に利用した人が 26 日中 22 日で延べ 49 名となっております。字別利用回数では多い順に 4 月が名古屋、猿山、飯岡、長沼、南羽鳥、5 月が名古屋、成井、高、猿山、高岡、6 月南羽鳥、名古屋、成井、飯岡、高となっております。行き先の上位についてですが、4 月、5 月、6 月ともにジャスコイオン成田店、成田赤十字病院、成田病院、成田市役所が多くなっております。また、5 月に 4 位、6 月に 6 位に JR 滑河駅前が入っております。

次に、利用者アンケートを 4 月に実施しましたので、その結果を報告します。まず、アンケート送付対象者ですが、利用したことがある者が 26 名、利用したことがない者 74 名、合計 100 名にアンケートを実施しまして、回答者数が 65 名となっております。

問 1 のオンデマンド交通を利用したことがあるか。の問いに対して、利用したことがある人が 26 名、利用したことがない人が 39 名となっております。問 2 の利用したことがない理由についてですが、家族が送迎してくれる人が 19 名、近くに乗り場がない人が 6 名、自家用車の運転ができる人が 4 名、設定された行き先に行きたいところがない人が 2 名という理由が多くなっております。問 3 のひと月当たりの利用回数についてですが、1~2 回と 3~4 回がそれぞれ 10 名で多くなっております。問 4 の主に行く場所ですが、成田赤十字病院が 11 名、成田病院が 7 名、成田駅が 2 名、市役所が 3 名と多くなっております。問 5 の今後希望する場所についてですが、個人病院（エリア外）が 15 名、薬師堂（エリア外表参道）が 4 名、スーパータイヨーが 2 名、成田山新勝寺（エリア外）が 2 名となっております。

議長： これより、質問・意見をお受けいたします。質問、意見のある方は、挙手のうえ、発言をお願いします。

委員： 利用回数はわかりましたが、拡大以外の利用時間帯はどのようになっていますでしょうか。

高齢者福祉課： 朝は 7 時台の病院が多く、日中は 10 時台以降ではスーパー、百

貨店への買い物が多くなっております。また、午後、夕方は自宅へ戻る方がほとんどとなっております。

議長：他に質問、意見がないようですので、以上で、協議事項の（１）オンデマンド交通実証実験の報告について終了させていただきます。

続きまして、協議事項の（２）オンデマンド交通運行許可の更新について、担当課から説明をお願いします。

高齢者福祉課：昨年１２月５日から実証実験を開始しました「成田市オンデマンド交通」につきましては、道路運送法第２１条により１年間の期限付き許可による運行を行ってきました。今回、その許可が１１月３０日で期限となることから、その後の実証実験と事業の継続性を考慮し、新たに道路運送法第４条による運行許可申請を行うことへの同意を求めるものです。

なお、第４条での許可が得られた場合には、更新手続きは不要となります。また、４月に実施した利用者アンケートから、乗降場として新たに設置してほしいという要望がなされた場所につきまして、利用促進の観点から乗降場として有効である地点を選定しましたので、エリア外乗降場の増設につきましても第４条申請と併せて行うため、同意を求めるものです。

路線又は営業区域は、中郷、豊住、久住、下総地区で、運行時間は、月曜日から土曜日の午前７時から午後６時までです。運行系統又は運送の区間は、区域内デマンド運行で、但し区域外であっても別添の「エリア外乗降場一覧」と区域内との間の運行は認めるものです。運賃（料金）の種類、額及び適用方法は、運賃一律３００円とします。適用する期間又は区間その他条件は、運行開始日を平成２４年１１月１日とし、使用する車両は現在運行中のセダン型、ワンボックス型のタクシー計３台を併用し、乗車定員１１人未満の車両を使用するものです。既設の乗降場はエリア内で２９０カ所、内訳としまして中郷地区４４カ所、久住地区９６カ所、豊住地区４８カ所、下総地区１０２カ所、エリア外で３１カ所、合計３２１カ所です。新たな乗降場は、エリア外乗降場を２０カ所設置し、内訳としまして成田地区８カ所、公津地区３カ所、遠山地区２カ所、ニュータウン地区６カ所、大栄地区１カ所となっております。なお、次ページは、現在のエリア外乗降場３１カ所の一覧表でございます。

議長：これより、質問・意見をお受けいたします。質問、意見のある方は、挙手のうえ、発言をお願いします。

質問、意見がないようですので、協議事項の（２）オンデマンド交通運行許可の更新につきましては、原案のとおり承認することによってよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

議長： ご異議なしと認め、本協議事項につきましては、原案どおり承認することに決定しました。

続きまして、協議事項の（３）コミュニティバス北須賀ルートアンケート調査結果の報告について、担当課から報告をお願いします。

交通防犯課： 今回のアンケートは、コミュニティバス「北須賀ルート」の契約期間満了に伴い、次年度以降の契約に、沿線地区住民の要望、意見等できるだけ反映させていくことを目的に、同沿線地区内における 65 歳以上の方がいる世帯の中から、無作為に抽出した 800 世帯を対象に実施しました。その結果、回答数が 444 件で、回収率 55.5%となっており、半数以上の多くの皆さんに回答をいただきました。

その主な内容についてですが、バスの利用目的の問いについては、病院へ利用した人が約 28%、次いで買い物に利用した人が約 27%となっております。なお、公津小学校の児童が通学に利用しているのが、延べ約 36,000 人で、全体利用者数の約 22%となっております。また、コミュニティバスの満足度に関する問いについては、満足とやや満足を合わせますとバスの本数では 50.7%、時間帯では 56.2%、運行ルートでは 58.3%、目的地までの時間では 76.7%、電車との乗り継ぎでは 60.5%という結果が出ております。今後のコミュニティバス利用の問いについては、車を運転できなくなったら利用すると答えた人が約 50%、もっと便利になったら利用すると答えた人が約 32%でありました。その他として、増便してほしいと答えた人が 53 人、運行を継続してほしいと答えた人が 13 人など、皆さんから様々な意見をいただいております。

今後、今回のアンケート結果を踏まえまして、少しずつではありますが利用しやすいよう運行改善に努め、地域公共交通の一つとしての役割を果たして参ります。

議長： これより、質問・意見をお受けいたします。質問、意見のある方は、挙手のうえ、発言をお願いします。

質問、意見がないようですので、以上で、協議事項の（３）コミュニティバス北須賀ルートアンケート調査結果の報告について終了させていただきます。

続きまして、協議事項の（４）その他について、事務局から何かございますか。

交通防犯課： 遠山ルートの上り第 1 便（6 時 35 分始発）の運行内容の報告をいたします。遠山ルートの上り第 1 便（6 時 35 分始発）については、多くの高校生を含む市民の方に利用されているところですが、ルート途中のバス停で満員になって乗車を断るケースが、数回発生するようにな

りました。この利用者の乗り残しと車中の満員状態を解消するために、概ね満員となる可能性の高い「本三里塚なかまち公園」停留所から、もう1台のバスを9月から同時運行することになりましたので、ご報告いたします。なお、運行日は、夏休み終了後の9月1日～3月22日までの月～金の平日、延べ129日間で、土、日、祝日、冬季休業日、学年末休業日（春休み）は運休となります。

以上が、コミュニティバス遠山ルートの上り1便（6時35分始発）の運行内容についての報告でございます。

議長： これより、質問・意見をお受けいたします。質問、意見のある方は、挙手のうえ、発言をお願いします。

委員： 遠山ルートの同時運行便についてですが、運行するにあたってバス1台分と乗務員の経費がかかるわけですが、成田市としてどのくらい予算措置をするのか。

交通防犯課： 同時運行便の経費につきましては、先ほどの条件により現在運行委託している千葉交通(株)と協議をさせていただきまして、1,625,400円を予算計上させていただいております。

議長： 他に質問、意見がないようですので、以上で、協議事項の（4）その他の遠山ルートの上り第1便（6時35分始発）の運行内容の報告について終了させていただきます。委員の皆様方から「その他」として何かございますか。

委員： オンデマンド交通の関係ですが、完全実施に向けて今後のスケジュールをお伺いします。

高齢者福祉課： オンデマンド交通実証実験は、現在、東京大学大学院のシステムを利用していますが、今後、システムを共同開発する契約を締結しており、既に学生や教授が成田市内に調査訪問しております。そして、オンデマンド交通とコミュニティバスや民間バスとの関係などのシミュレーションをしていただいております、その結果が9月ごろ出されますので、それから今後の方向性を出したいと思っております。

議長： 他にないようですので、以上で協議事項を終了させていただきます。以上をもちまして、平成24年度第2回成田市地域公共交通会議を閉会します。

## 6 傍聴

(1) 傍聴者 2人